

... 雨でも休まず：第104,105,106回 ...

「若柳嵐山の森. 小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森；5月3日（第一土曜日）参加費 300円
弁当持参
- ・活動2：小原本陣の森；5月11日（第二日曜日）参加費 300円
弁当持参、9時15分駅前集合。車分乗で行く、甲州古道整備など
- ・活動3：若柳嵐山の森；5月18日（第三日曜日）参加費 500円
弁当は飯だけ持つて来ること、昼休みに「森の中の音楽会」
活動3のみ必ず申込必要；T & F 03-3411-1636（石村）
- ・臨時：5月25日（第四日曜日）
午前中／森林活動。午後／FSC準備会。交流センタ 参加費 300円
- ・集 合：相模湖駅前9時15分／8時42分、9時02分 JR高尾発に乗るべし
- ・服 装；汚れても良い格好、着替え... 足元の滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて...保険証写し
そして、作業を楽しむ ゆとり 怪我をしない「心構え」

活動を深め、広げ、一般化の為に...

森林は、全ての人々（山間住民／都市住民＋学際＋業際＋行政、立法、司法）と協働しなければ解決できない大きな課題だから、相模湖町の人々と我々、都市住民が町、県行政共々、[水源の森再生]に取り組んでいるのは、極めて大きな意義がある。我々は、広い視野と心で足元を見詰め、全て実践と検証を繰り返し進める。

我々は、森林（自然）との調和、共生を求めて、その手がかりとして[FSCガイドライン]の指導に沿って、国際認証の森を目指しているが、認証の第一条件が地権者との意思の確認と他の土地所有者と土地関係の争いが起こらないように森林境界線を明確にしておかねばならない。先ず、その作業から始める。

園田理事が[FSCとの取組み方]を投稿、指導してくれた。過日、別送したが、読んだ仲間は再読し、読んでない仲間は、机の出しから出して良く読んで欲しい、これから先の活動が、より一層、楽しく面白く意義あるものになることを請う。

大切な報告

1. 畑班活動開始

雑草に覆われていた県道を下った右手の土手の上に広々と広がった畑がある。誰かが「畑もやってみたい」と言ったものだから、オジイサンが整地までしてくれて「どうぞ、ご自由にお使いなさい」と言って下さった。そこをご子息の史比古（フミヒコ）さんのご指導で先ず、バレイショ、サツマイモ、エンドウ等植えた。沢山の畑参加を望む。

2. 森林使用契約

3月29日、相模湖町、神奈川県行政の森林関係者を交えて、我々の活動に最も相応しい「炭窯広場」で地権者の鈴木重彦氏、史比古氏と森林の使用方法を相談した。いろんな事が自然に整い、全てが無理なく進んでいる。
・森林境界線の確定と目印設置に入るが、仲間の参加を望む。お世話掛を測量士資格を持つ鈴木孝夫仲間をお願いします。

3. 事故2件

イ、3月1日、サワラ大木の枝打ちをしていて跳ね木激突、頭骨内出血、手術、入院8日。一步、間違えば植物人間。負傷者... 恥ずかしながら...、かく言う石村黄仁。ロ、3月25日、熟練の荒井さんが鋸で左手薬指を切った。5日の入院。

大事に至らなかったが、活動を甘く見ていた警告。万物の霊長らしい反省と対策をしなければ恥ずかしい.. 安全管理、を強化する。

活動報告

1. 緑のダム学校... 4月6日、損報ジャパン環境財団から受託... 報告 齊藤憲弘

ご指導の先生方、有難うございました。初回としては、大成功と思います。参加者の方からの感想として環境財団を通じて「新しいもの見かたが出来ようになりました」の評価を得ました。先生方：鈴木孝夫、林将之、篠田授樹、藤島脊単に知識が増えると言うより、この新しい目で道端を、山を、川を、自然を見ていくと、新しい発見が生まれてくるものと期待します。その本人にとって、今まで見えなかったものが（見てなかったことが）見えるようになったと言う事でしょう。このことは、体験することだけでなく、得られないものとおもいます。今後の人生に大きな財産になるものと確信します

これら、一連の活動はF S C認証の対象になります。記録とマニュアル化（当日

の資料など)が必要となります。今からその都度、ご準備下さい。

2. 小原本陣の森... 4月13日,美女谷尾根下り, 甲州古道調査.

大久保沢を遡行して明神に至り,美女谷尾根を下った。思いがけない明るい緩やかな下り。誰かが、方向板と枝に目印を丁寧にかけている。迷うことなく最後の急坂に至る。造成小原集落の最上部に出るが、少し手を入れれば良い周回路になる。

集落最上部は、高速道路によって分断された旧甲州古道で,これを加藤岑夫さん先導に小仏峠方面に急斜面を藪こぎする。一部、これぞ古道の名残りと思われる40...50mばかりの急カブの水場で汗を拭う。旧に想いをはせる至福の一刻である。かくて、本日も実りある活動となった。本日の活動で、小原本陣の森を形成する大久保沢の西尾根(小原本陣尾根)、東尾根(美女谷尾根)の全域を概ね踏査した事になる。

3. 植樹祭 4月20日(第3日曜定例活用日)

国土緑化推進機構後援の[植樹祭]。霧雨模様の植樹最適のこの日、予想を越じた96人集まった。当初、64人の申し込みが、前日14人の駆け込み申し込みに加えて、当日飛び込みの十数人の参加の活動。植えた木は町の木...桂他、栃、山桜など1300本

本。ヒマワリの種を4000粒、お土産に渡した...ご自分の庭にお蒔き下さい。

木の名前	役割
桂	新緑と紅葉が美しい、相模湖町のシンボルの木
栃(トチ)	混交林に挑戦、蜜源、生態系を豊にする。
えん樹	密源
二色うつぎ	林床が美しい。2色の花が咲く
山桜	ご存知桜、相模湖の湖面に映えて美しいだろうなあ.....
黄肌	密源
サルスベリ	林道沿いに植えた

この企画を進めた斉藤仲間の緻密にして八方気配りに敬服。それを支える森仲間の阿吽の呼吸の協力、軽妙洒脱にして巧みな髭園(髭の園田さん)指導員の指揮宜しきをもって大成功に終わった。鍋奉行班の活躍は、めざましく100人分の[美味...若柳けんちん汁]もキレイに底をついた。

活動解散後、雨が本降りになった。又しても、森林と活動は、調和した。掃路、斉藤仲間が森の入り口の神様に感謝していた。

その他の報告

- 1, 活動発表会 4月2, 3, 4日, 渋谷, 国連大学構内: 環境プラザで活動の写真展示, 間伐材製品展示, 来場者に説明した。マルモ出版共催, 日本総合研究所後援。
- 2, [セブンアグリの基金] とパートナーシップを結んだ。他に2~3の企業とも話が持ち上がっている。活動が社会的に認知されてきた事を意味するのだろう。
事務局の高木美代子さんが当会の運営会議に参加して趣旨を詳しく説明してくれた。
- 3, 24日, NEC本社社会貢献室/森林問題を一緒に考え行動しようと話し合った。

[緑の学校]

[緑の学校] / 第一弾: 損保japan緑の財団, 第二弾: 国土緑推の植樹際, この企画運営に全面的に協力した篠田仲間, 鈴木仲間, 林仲間, 藤島仲間, 西仲間, 斉藤仲間のあいだで真剣で膨大な情報, 意見が飛び交った。整理して公開する。
まだ, 立ち上げたばかりだから, 稚拙でも, これぞ本物の市民によるFSC活動と思う内容だ。FSC活動を十分, 実践, 論議する。急がない。

月次 運営会議 第3金曜日 マルモ出版

- 1, 今月の経過状況報告
- 2, 事故2件, 発生状況報告と対策
- 3, FSC準備をどうするか... 5月第四日曜日に活動後, 午後, 交流センタ

5月, 大切な予告

- 1, 3日 (第二日曜日) 小原本陣の森 小仏峠~笹子峠を繋ぐ打合せ, 街道各地から活動に協働する人々が集まる。場所, 相模湖町/小原本陣, 午前11時
- 2, 25日 (第四日曜日) FSC打合せ 午後1時 交流センタ
- 3, 30日, 早稲田町~相模湖町共催イベント, 詳細は, 事務局へ

急がず, 休まず, 楽しく, 無理せず, ボチボチと,

名称 NPO緑のダム北相模/森林部会

事務局 154 0023 東京都世田谷区若林 3, 35, 9 お世話係 石村 こうじ

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/kitasagami>

活動のパートナー: 世界自然保護基金日本委員会, 損保緑の財団, 7-11みどりの基金